

一般質問17人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、議会事務局、図書館、公民館、庁舎、地区行政センターなどの公共施設、またはホームページにて閲覧できます。
なお、9月定例会会議録は12月中旬から閲覧可能です。

北野 唯道

問 白河市の経常一般財源について

答 経常一般財源は平成23年度決算で174億7708万1千円、24年度決算では178億2395万9千円で、23年度と比較して3億4687万8千円の増加となっている。

問 経常的経費について

答 平成23年度決算では194億7360万1千円、24年度決算では191億2758万8千円で、23年度と比較して3億4601万3千円の減となっている。

問 公債費について

答 地方債の元利償還費用などの公債費は、平成23年度決算では34億9849万5千円、24年度決算では33億7623万7千円で、23年度と比較して1億2225万8千円の減となっている。

問 市長交際費について

答 平成23年度決算では359万

佐久間 進

問 防災に対する市の姿勢について

答 屯所の建替えや消防車両の更新、デジタル無線機の配備、給水車の増車などを実施している。今後も消防団や町内会などと、より密接な連携強化を図って参りたい。

問 矢武川の改修について

答 上流部の浸水区域の早期対策が望まれている。県に対し速やかな改修要望を行っており、引き続き早期改修の実施に向けて要望して参りたい。

問 ひょう被害について

答 芦ノ口の果樹園に甚大な被害が発生した。被害面積9・4ヘクタール、被害金額2556万4千円と算定している。

被害農業者への支援として、薬剤や肥料等の共同購入に対し、国と市がそれぞれ3分の1を助成することになる。

問 県道壱・泉崎線について

答 反町工区は、県において平成24年度に事業に着手し、昨年度は用地の境界測量を実施した。万海から石原については、昨年度路肩にカラー舗装を実施した。



矢武川（東地域）

水野谷 正則

問 介護福祉養成校の誘致について、市長の思いを伺う。

答 29年4月の開校に向け、設置者と連携しスムーズに実現するよう対応していきたい。

問 地域づくり活性化支援事業について、来年度以降の取り組みと方向性を伺う。

答 使い勝手のよい、継続性のある事業にしていきたい。

問 振り込め詐欺等について、現状と対策を伺う。

答 昨年、白河警察署管内で約4400万円の被害。警察等との連携を図り、未然防止に取り組む。

問 今年度の大雪対策を伺う。

答 道路除雪などについて分かりやすいパンフレットを配布する。除雪対策強化に1億円を超える補正予算を計上、市民生活の安全確保を図る。

問 今年度から、文科省は、道徳教育の充実を図るために「心のノート」を全面改定した。本市の取り組みを伺う。

答 家庭や地域との連携を図った道徳教育の更なる充実に努める。市立図書館にも「私たちの道徳」を配置する。



「私たちの道徳」

緑川 撰生

問 除雪対策について

本年2月の大雪の経験を教訓とした冬への備えを伺う。

答 ①国県道、市道の対応を、

国、県、市町村、警察、消防などの連携を図るための協議会を立ち上げた。その中で、初動体制の見直しや優先路線の選定、会津管内からの支援などを検討をしている。

②通学路は、学校、PTA、町内会等の協力を得て、通学路除雪対応マニュアルを作成している。さらに、各学校へ除雪機を配備する。

③市がすべてに目配りすることとは困難なので、市民の皆様との連携、協力は欠かせない。様々な方々に協力をお願いしなくてはならないと考えている。

問 ふくしまDCに、権太倉山、関山、天狗山を活用して

はどうかを伺う。

答 南湖公園や城山公園、白河ラーメンや白河そばなどを組み合わせた観光ルートをつくつか設定し、そのPRに努めていきたいと考えている。

問 伝統文化の保護・伝承の仕組み強化について

答 市内各地域には、間もなく開催される白河提灯まつりをはじめ、釜子の盆踊り、河東田牛頭天祭、十日市提灯まつりなど、長年にわたり大切に守り、伝えられてきた数多くの伝統行事があります。

伝統行事や民俗芸能が伝承されている地域では、地域固有の文化を守り伝えようとする人々の思いが、地域で共に見えることの一休感を醸成し、精神的な結びつきとなっており、また、それが地域を支える活力となっていることを改めて感じたところである。その一方で、後継者や資金面の課題が伝統行事の継続に支障となっている。こうした状況を踏まえ、平成21年度から「しらかわ無形民俗芸能等支援事業」を創設し、継続的な活動をはじめ、太鼓や衣装の整備などに財政的支援を行ってきた。また、今年度から新たに補助制度を創設し、伝統行事や民俗芸能の保存継承のための支援を強化したところである。



白河提灯まつり

深谷博歩

問 個人住宅の放射線量調査と今後の除染について伺いたい。

答 除染の加速化と、放射線量に対する不安を早期に解消するため、来年度以降に予定していた旧白河町や大沼、関辺、表郷、東の約一万六千世帯の線量調査について、今年度から前倒しして実施し、この調査を通して住宅敷地内の線量把握ができ、低線量の世帯においては安全性が確認でき、安心感の向上に繋がる。28年度内で除染完了予定。

問 表郷堀之内地区の市所有地について用途別面積と空き地利用を伺いたい。

答 福祉関連用地として道路や調整池を除き5万1631㎡となっており、「オリーブの郷」駐車場用地で普通財産で7032㎡を除く4万㎡弱が行政財産で表郷デイサービスセンター用地が1万4170㎡有り、残り2万5447㎡が未利用地となっている。現時点では具体的構想はないが今後の有効な活用について議論して参る。

十文字博幸

問 人の駅、道の駅、川の駅について

答 道の駅は、休憩施設としての機能だけでなく、地元の食材を活用した食事の提供や歴史・伝統を見学体験できる施設を併設することにより地域に人を呼び、地域振興の面で非常に有効であると認識している。

平成22年に設立を行っていたが、東日本大震災によって凍結を余儀なくされた。震災復興の進捗状況や財政を見極めながら、引き続き検討再開の時期を探ってまいりたい。

問 ゴミ袋について

答 ゴミ袋の価格について、「燃えるごみ」「燃えないごみ」に関して、袋の原価、小売店における販売手数料、ゴミ手数料、また、ペットボトルやプラスチック類、かん類・金属類、びん類の資源ゴミは袋の原価と販売手数料で構成されており、ゴミ手数料は含まれていない。本年4月から消費税率が3%引き上げとなったが、価格を据えおいている。

大竹功一

問 食育について市はどのように取り組んでいるのか。また、学校給食における食育についてはどうか。

答 食育は知育・徳育・体育の基礎であり、市民に食育の重要性や「早寝・早起き・朝ごはん」の普及活動に努めている。また学校給食においては、適切な食習慣や自然の恵み、生産者等への感謝の心を指導している。なお今後、米飯給食の回数を増やす方向で検討している。

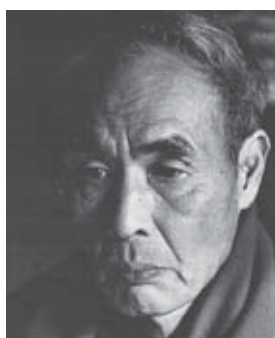
問 生活保護家庭の現状は。

答 全国的には増加傾向のようだが、白河市は平成23年度をピークに減少傾向にある。保護後、各家庭を訪問し生活指導を行うとともに、ケース

ごとに援助方針を検討し就労支援なども行っている。

問 草木等の搬入状況は。

答 昨年度の処分場への搬入は446tのうち13tが公共施設分である。放射性物質の値は、1キログラム当たり昨年度の最大値で焼却灰1383ベクレル、煤塵9273ベクレルであり、草木が大量搬入されると数値が上がる傾向にある。



中山義秀

縄田角郎

問 中山義秀文学賞第20回記念事業について

中山義秀顕彰への想いを市長に伺う。

答 中山義秀文学者の想いを本市の文化や教育に反映させ文化の薫る白河の実現に。

問 国道294号の白河バイパス工区、及び豊地工区の進捗状況について伺う。

答 国道294号は、本市のまちづくりの骨格として極めて重要な路線であり、今年度より

本市職員を県南建設事務所へ派遣するなど一日も早い完成を目指したい。

問 豪雪農業災害対策事業最終取りまとめについて

答 来年3月までに事業を完了し、補助を受ける条件となっている。農家の営業計画に支障のないよう取り組みたい。

問 鳥獣被害対策に係る提案について、市職員の狩猟免許等の資格取得及び鳥獣対策専門部所設置について伺う。

答 市職員の狩猟免許等の資格取得や鳥獣対策専門部所の設置については、捕獲隊の高齢化を見据えた今後の検討課題とさせていただきたい。

石名 国光

問 プレDCが終わり、本DCに向け市長の見解を伺う。

答 DCは観光客を受け入れ観光客誘致の継続的なシステム作りや、観光地の魅力を作る原動力になる。DC本番までに石垣修復が終わり、三重槽への入場が可能となるほか、南湖公園の憩い空間の整備が進むなど、観光資源としての付加価値が高まり、それを市民のおもてなしの心が支えとして、その気運を盛り上げていく。本番DCに向け正念場であり、11月までのセールスが重要であることから、積極的にJR・エージェンツにセールスを行う。

問 学力テスト公表で懸念。学校間格差、児童生徒たちと教員に対する影響と対策は。

答 公表するのは、結果を分析した内容や、改善策を示し今後の指導に役立つ内容であり、平均正答率の数値公表や学校の順位付けは行わないので、学校や子どもに対して影響はほとんどないと考えている。教員に対しては、指導力向上に努め、保護者と連携を取り協力体制を強化する。

柴原 隆夫

雷、強風を伴う豪雨防災対策について

問 広島市では豪雨による大規模な土砂災害が起こり、市民の命を守る避難勧告が遅れ多くの犠牲者がでた。気象の専門家は「地球温暖化により台風とは異なり、予測時間帯が難しい急にやってくる大気不安定による局地的、短時間の豪雨は全国のどこにでも発生する。」としている。この広島島の教訓をいかした従来と

は異なった防災対策が必要と思われるが。

答 ご指摘の防災対策の整備が急がれると考える。

介護福祉専門学校の誘致について

問 白河ではかつて明星大学と独協高校の誘致をのがした残念な経験がある。高等教育の誘致は喜ばしいことだが、誘致される場所のマイタウン白河の3階は昭和46年に店舗として建設され老朽化が進んでおり、専門学校誘致に適した学習環境となり得るかが大変心配である。

答 真徳会の要望も聞きつつ学習環境の整備を進める。



マイタウン白河

佐川 京子

問 婚活支援について

答 結婚から育児まで支援を行う国の「地域少子化対策強化交付金」や県の「少子化危機突破基金」の施策を活用し婚活支援策を考えている。

問 舟田地区の「しらかわ・きずな農場」について

答 経済産業省・農林水産省関係団体・総務省の補助金や交付金を活用した植物工場、加工場、直売所で、10月中完成・稼働を予定している。取引や雇用も地元を活用する。

問 風評被害対策について

答 国全体での対策を強く要望し、ふくしまDCや東京五輪の「ホストシティタウン構想」の参加も視野に取り組みたい。

問 土産物売り場の整備要望

答 市全体の振興計画をベースにJR駅前や南湖周辺等幅広い視点で検討してまいる。

問 全国学力テストの結果公表について

答 本市は、全国や県の平均正答率をすべて上回った。学校、保護者、地域の意識を高め、学力向上に取り組む環境をつくるため公表を決定。

藤田 久男

問 人口減・社会について

答 人口減少を極力抑えるため、現状を見据えた対策を講じる必要があると考えている。

問 地域にあるものを活かす、5年先くらいまで見てはどうか。

答 地域産業の振興を図ることが重要であり、地域にあるものを活かし、生活に密着した産業を興し、地域に富が循環する政策を取る必要があると考えている。



しらかわ・きずな農場

問 防災マニュアルについてマニュアルはどのような方法で作成されたのか。

答 緊急時に落ち着いて行動できるように災害への避難所情報掲載した。

問 マップに載っていない所はなぜか。

答 福島県土砂災害防止法に指定した区域である。

問 東庁舎周辺矢武川水害箇所が載っていないのは。

答 東庁舎に聞いて確認のうえ、載せるようにする。

戸 倉 耕 一

問 戊辰戦争『白河口サミット』を開催してはいかがか。

答 幕末から明治にかけて、ここ白河の地が、歴史上重要な役割を果たした事実は、まだまだ広く知られていないが、「八重の桜」では、その重要性が描かれた。

また、戊辰の秘話として、白河に駐留していた長州藩士が「白河おどり」を故郷に持ち帰り、今でも萩市を中心に山口県では72の地域で150年にわたり継承されている。そして、先月、萩市長ほか約40名の萩市民が本市を訪れ、白河盆おどり大会において、市民

と一緒に「白河おどり」を踊ったが、戊辰戦争の取り持つ縁を感じている。

このように、戊辰戦争の雄略を、明治という新しい時代の幕開けのきっかけとなつた、この白河の地で「戊辰戦争白河口サミット」を開催して、その歴史を後世に引き継ぐことは、大変意義あることと思う。加えて、4年後の2018年には、戊辰戦争後150年を迎えることになる。

吾 妻 一 郎

問 平成26年産米価下落による農家への影響、及び米価下落対策での国への要請について

答 他県における下落状況からみると、本県においても相下落するものと見込まれている。本市の水稻生産数量は30万俵を超えることから、市全体ではかなりの影響額となるものと懸念される。今年の米価下落が本県にとって大きなものになれば、農家にとって営農意欲を失うことになりかねない状況になり、本市基幹産業の一つである農業にとって、極めて深刻な事態を迎えることになる。こうした下落に歯止めをかけるためには、

限定的な緊急措置として国による一定程度の関与がどうしても必要になると思われる。具体的には、「備蓄米の政府買い入れ」や「飼料用米の受入体制の拡充」あるいは、「食育を通じた米の消費拡大」などの対策を講じることが重要であると思われる。

深 谷 弘

問 市教委は新聞のアンケート調査で、全国学力テストの学校別成績公表を実施すると回答した。(県内59市町村の中で埴町と白河市のみ)その理由は何か。

答 保護者や地域住民に実態を公表するとともに改善策を示し、学校と保護者が協力して学力向上に取り組むためである。

問 「学校の序列化や競争が過熱する」との懸念から公表しない市町村が圧倒的多数である。市教委で「公表すべきではない」との消極論は出なかったのか。

答 市教委でも校長会でも、学力向上のためには家庭との連携が必要であり、公表によりその環境をつくることのできるかと考えた。

問 公表の手法は、どのように考えているか。

答 公表にあたっては、学校の序列化が生じないように十分配慮する。そのため数字(教科ごとの平均正答率)は、市教委全体のものを公表し、学校別には公表しない。

大 花 務

問 イベント広場の利用促進化計画及び歴史まちづくり計画の認定を受け図書館や道場門遺構イベント広場など白河市の顔づくりとして駅周辺の整備を進めてきた。小峰城跡・白河駅周辺地区が今年度の都市景観大賞で「都市空間部門優秀賞」を受賞した。城下町としての歴史的な資産と図書館をはじめとする文化的施設が調和し優れた都市景観を形成していると評価されたものであり大変うれしく思っている。このうちイベント広場は市民の交流を促進するとともにまちの活力向上に繋が

る多目的な活動の拠点として白河駅前常設の屋外ステージと芝生広場を整備した。「しらかわ魂」や「しらかわ朝市マルシェ」や子供たちの笑顔が集う「ご当地キャラ」なども夢フェスタなど多くのイベントが開催され賑わいの創出に繋がっている。先月は山口県萩市長野村興児様をはじめ萩市民の皆さん40人をお招きし「しらかわ盆踊り大会」で交流を図った。



しらかわ盆踊り大会

傍 聴 席

9月定例会の傍聴者数は次のとおりです。(延べ人数)

9月5日(金) 23人
8日(月) 6人
9日(火) 6人